

Event Photo



3月12日 絵のまち春の灯りまつり

尾道本通り商店街絵のまち通りが、装飾されたおよそ1000個のぼんぼりで照らされました。

ぼんぼりは市内5カ所の幼稚園・認定こども園の園児や商店街の人たちが制作したものです。絵のまち通り商店街振興組合の辻 梨恵理事長は、「コロナ禍で行事がすべて中止となっている。子供たちの思い出作りとコロナが収束して再び商店街に賑わいが戻るように」と企画した思いを話しました。

暖かい春の風が吹く夕方、制作した自分のぼんぼりを探す家族連れの様子がありません。



3月16日 紙芝居で環境問題を学びました

向東認定こども園の園児へ、環境紙芝居の読み聞かせを行いました。

環境紙芝居は、幼児から小学校低学年を対象に暮らしの中の環境問題について関心を持ってもらうことを目的に、尾道市と尾道市立大学が協働で制作しました。

主人公のかにのキャラクター（かにじいとかにばあ）が地球温暖化防止について何ができるのか、賢い選択(COOL CHOICE)とは何かを尾道の方言を用いてわかりやすく語る内容に、子どもたちは聞き入っていました。



3月12日 家庭教育支援講座「なぜなに新聞社～『新聞の読み方・作り方』」

3月12日(土)、14組の親子が新聞の作り方、新聞にまつわる豆知識、またインタビューの仕方などを学びました。子どもたちの「大好物」をお題にして2～3組でインタビューをし合い、限られた時間の中で、どれだけ相手から話が引き出せるかが鍵となりました。家族で新聞やニュースに興味が高まる1日となりました。



3月29日 小学生が「コマ撮り映画」に挑戦

おのみち映画資料館で、コマ撮り映画を作成する「尾道市×シネマ尾道コラボ企画2021」が開催されました。小学1～6年生の参加者21人が、尾道の中を皆が大好きな猫が行き交うことをイメージしながら、猫の紙人形を作成し、コマ撮り映画を完成させました。

参加者は「茶色と黒の猫をイメージして作った。ちょっとずつ動かしたり、途中ジャンプさせたりと、本物の猫の動きをイメージした。面白かったので、今度は他の動物や、人間でもやってみよう」と楽しそうに話をしてくれました。